

# 料理体験を通じた日本の魅力発信事業概要

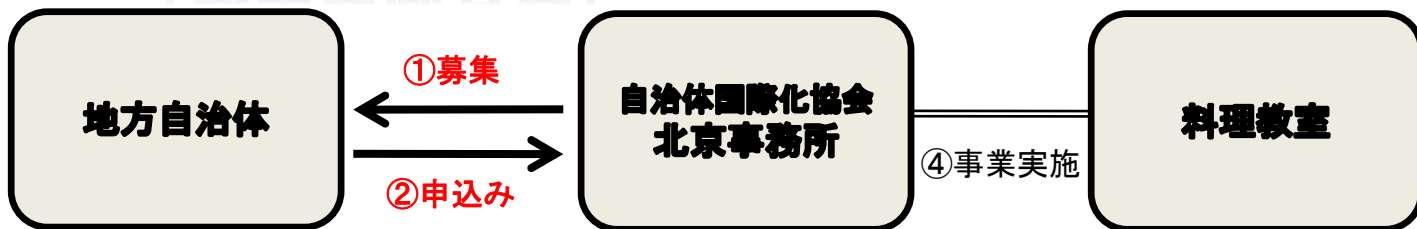
## 【なぜ今、中国で日本料理体験か】

- ✓ 2018年の訪日中国人は800万人を超えた。訪日外国人のうち4人に1人が中国人。
  - ✓ 訪問先は、東京・富士山・京都・大阪の「ゴールデンルート」に集中。今後は地方訪問の広がりが期待される。
  - ✓ 観光庁の訪日外国人消費動向調査によると、中国人訪日旅行者は「日本食」への関心が高い。
- ⇒中国人が高い関心を持つ日本食を活用して、PRを行いましょう！

## 【事業の特徴】

- ✓ 料理教室を運営する日系事業者との連携により、日本食への関心や訪日旅行のリピーター率が高い中国人への訴求が可能！  
(料理教室会員の多くは日本への関心が高い富裕層。)
- ✓ 郷土料理や名産品のPRにより、料理体験を通じた販路開拓の機会とすることが可能！
- ✓ 参加者が利用する会員制交流サイト(SNS)を通じた情報拡散が可能！
- ✓ 講師依頼、会場借上げ、集客、食材調達などに係る費用の負担なし！

## 【事業実施方法】



- 〔例〕
- ・レシピ又はレシピ原案の提供
  - ・名産品の提供
  - ・観光PRを行う職員の派遣
- ③協力地方自治体の決定

- ・参加者募集
- ・プロ講師による料理教室
- ・会場提供
- ・食材調達



料理教室の様子